

17 環境負荷軽減に向けた持続的生産支援対策

【令和4年度予算概算要求額 7,258（6,048）百万円】

＜対策のポイント＞

地球温暖化対策などによる持続可能な社会の実現に向け、畜産・酪農における温室効果ガス排出の削減と持続可能な畜産経営の確立を図るため、酪農・肉用牛経営が行う温室効果ガス削減の取組を支援します。

＜事業目標＞

酪農・畜産に起因する環境負荷の軽減（温室効果ガス削減量：27万 t（CO₂換算）〔令和13年度まで〕）

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 環境負荷軽減型持続的生産支援（エコ畜事業）

飼料作付面積を確保しながら温室効果ガス排出削減に取り組んでいる酪農・肉用牛経営に対し、交付金を交付します。

- ① 対象者の要件
- ア 牛を飼養する経営体
- イ 飼料作付面積が北海道で40 a /頭以上、都府県で10 a /頭以上※
- ウ 温室効果ガス削減に取り組んでいること（右の取組を実施）
- ② 交付金単価
- i の取組（とうもろこしに転換）
【新規】（牧草に転換）

88,000円／ha（5年間）
24,000円／ha（5年間）
- ii の取組

1 取組当たり 7,500円／ha（2つまで取組可）
- iii の取組

45,000円／ha

（一部の取組については、対象頭数や面積に条件あり）
- ※ i の取組では要件としない

2. 環境負荷軽減型持続的生産支援推進

環境負荷軽減型持続的生産支援の実施のための推進活動、要件確認、事業効果の測定等を支援します。



番号	取組内容
i	輸入飼料から水田を活用した自給飼料への転換 ・ 輸入飼料の購入量を削減し水田における自給飼料の生産を拡大（飼料用米、稲WCSは対象外） ・ 化学肥料を極力削減し適切な量の堆肥を使用 
ii	飼料生産等に係る温室効果ガス排出削減 ・ 以下の取組を実施（2つまで交付金の支払い対象） 1) 放牧（飼料作付地等で放牧を実施） 2) 不耕起栽培（不耕起栽培による飼料生産） 3) 消化液の利用（バイオマス発電等から発生する消化液を利用した飼料の生産） 4) 化学肥料の削減（化学肥料を削減した飼料の生産） 
iii	有機飼料の生産
iv	牛からのメタンガス排出の削減 ・ 脂肪酸カルシウムの給与 CH₄

【お問い合わせ先】 畜産局企画課（03-3502-0874）